



令和 2 年夏号をお届け致します。

◆新型コロナウイルス感染防止のため 4 月以降の校友会行事については中止をしています。

新年度早々、コロナ禍の影響により、校友会を含め各自治体、また大学行事もコロナ感染防止のため、ほとんどのイベントが中止あるいは延期になっています。日野地域支部も予定しておりました、定時総会を中止せざる得ませんでした。一旦は収束に向かうような気配もありましたが、今日、以前にも増して感染拡大傾向にあり、いつ収束するか先が見えません。

本会報も題材に乏しく発行を控えておりましたが、会員の皆様にも情報提供を待ち望んでいらっしゃる方々も多いのではないかと思います、発行予定より少し遅れましたが、第 20 号を発行いたします。

◆新型コロナウイルス 正しく怖がろう

東京でも 7 月の 4 連休以降、コロナウイルス感染者数が右肩上がり増加傾向しています。(8 月 5 日現在)また、PCR 検査の陽性率(陽性判明数/検査件数)もじわじわ上がっています。ですが、この数字に萎縮する必要はまだ無いと考えています。なぜなら、現在、検査を受けられる人が、陽性の可能性がある人に限られているからです。従って検査人数が増えれば、陽性者も増加するのは当然とも云えます。

ここは、むやみに怖がらず、正しく怖がりましょう。厚生省でも屋外であれば人との距離をあければマスクを外しても大丈夫と云っています。要は飛まつ感染をしない、させないことが重要です。また、ウイルスが着床しているかも知れないものに触れたときは、手洗いをします。洗うことができない場合は、携帯用除菌シートを使うなど、適切な対応を取ってればリスクはかなり減ります。体調の悪い時は無理せず外出を控え、自分が感染していると想定して、他人にうつさないような適切な行動をとりましょう。

◆東京六大学野球春季リーグ始まる

当初は 4 月開幕予定だった東京六大学野球 2020 春季リーグ戦が 8 月 10 日(月)~17 日(月)有観客試合(収容人数上限 3,000 人)として行なわれました。試合は今回、特別措置として、2 戦先勝勝ち点制から 74 年ぶりの 1 回戦総当たりに変更されました。また、今春に限って延長十回から無死一、二塁でのタイブレーク制を採用。4 勝 1 敗で 2 校が並んだ場合は対戦成績、3 校以上が並んだ場合は優勝預かり。観客の入場については今後の新型コロナウイルス感染の状況を注視して判断します。な

お、応援団は認められないため、代わりにエール交換などは録画した映像をスクリーンに流します。

残念ながらわが明治大学は 8/13 日現在、早稲田大に 1-5 で敗れ、また立教大にも 3-4 で敗れ、慶應大に 2-11 で敗れ、厳しい状況にあります。



◆明治大学ニュース

●明治大学への寄付について ~「明治はひとつ」と「同心協力」の精神で学生を支援~



さる 5 月 26 日(火)柳谷孝理事長、大六野耕作学長、大原幸男経営企画担当理事の出席のもと、北野大校友会会長から、「明治大学学生・教育活動緊急支援資金」へ 2 億円の寄付がなされた。この寄付金は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する学生を支援するため、校友会が毎年積み立てている「校友会基金」のうちから拠出されたもので、北野会長は「この基金は歴代の校友の方が積み立ててきたものであり、このような状況の下で困窮している本学学生のために使って頂きたい」と述べた。

目録贈呈の後、北野会長、柳谷理事長、大六野学長による鼎談が行われ、その模様は 6 月下旬に発行される校友向けパンフレットに掲載される。

●第 136 回明大祭

COVID-19 拡大に伴い第 136 回明大祭はオンラインでの開催を決定いたしました。

初の試みとなりますが、未だかつてない明大祭を創り上げられるよう邁進してまいります！

●第23回(2020年度)ホームカミングデー

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来場者の皆様、教職員・学生スタッフの安全確保を第一に考え、駿河台キャンパスでの開催はせず、その代替措置として「特設サイト(ホームページ)」を開設し、動画配信等によるコンテンツをお楽しみいただく形で実施いたします。

●ONLINE ミュージアムを開設いたしました。

明治大学博物館は、2020年7月14日、ONLINE ミュージアムを開設いたしました。ONLINE ミュージアムは、明治大学博物館による収集・保管、調査・研究、教育・普及の成果をデジタル化し、継続的にコンテンツを増補しながら情報配信を行っていく、現在進行形のサイトです。

【明治大学博物館 ONLINE ミュージアム】

<http://ict-museum-meiji.tokyo>

●明治大学創立140周年記念事業コンセプト 前へ「個」を磨き、ともに持続可能な社会を創る

21世紀に入り、グローバル化が急速に進展した一方で、多様な価値観のぶつかり合いによる国家・民族間の相克や社会的・経済的格差の顕在化など、様々な問題が生まれ、世界は混迷を深めつつあるように見えます。

日本では少子高齢化が進行することにより、新たな価値観に基づく社会システムの構築が模索されています。こうした現代社会が抱える諸問題に真摯に向き合い、グローバル・パートナーシップを醸成して問題解決への取り組みを重ねることによって、ともに持続可能な社会を築いていくことが、いま求められています。

そこで重要になるのは、一人ひとりが人類の英知に学びながらそれぞれ個性を育み、多様な個性を尊重しつつ、社会のあらゆる場面で協同することを日常化することです。

明治大学は、2031年に創立150周年を迎えます。これまで、建学の精神である「権利自由、独立自治」を体現した多彩な人材を輩出してきました。

これからも、多様な「個」を磨き、自ら切り拓く「前へ」の精神を堅持し、社会のあらゆる場面で協同を進め、時代を変革していく人材を育成します。

これら人材の育成に必要な教育の基盤は研究、すなわち知の創造にあります。各専門分野を牽引する独創的研究を推進するとともに、学際的・国際的連携によって知の厚みを蓄え、新たな課題に挑戦します。

建学の精神を体現した人材の育成と知の創造を通して共創的未来へと前進します。

さあ、ともに前へ！

明治大学創立140周年記念事業ロゴマーク



◆木下大サーカス立川公演のお知らせ

木下大サーカス12年ぶりの立川公演のお知らせです。このほど(8/1~12/14)、立川立飛にて、木下大サーカスの興行が行われています。同サーカスの木下唯志社長は校友会副会長で明治大学OB【S49 経営卒、現岡山支部長、連合駿台会副会長】です。

木下サーカスは、一世紀を超えて今日まで、戦争・自然災害・金融危機など数々の困難に直面し、逆境を乗り越えてまいりました。そして現在、世界的な新型コロナウイルス問題に直面しています。感染防止のため、公演自粛を続けて、休演日数は1年間の興行スケジュールの40%に上り、かつてない事態と損失に直面しています。しかしながら、ようやく、8月1日より再び公演できる見込みとなりましたが、「三つの密」を防ぐため、定員は通常時の半分未満としています。

今も厳しい状況が続いており、大切なパートナーである動物たちの食事代・管理費のほか、機材類のメンテナンス費としての資金が不足しています。同じ校友として、会場に足を運ぶことで是非応援してあげたいと思います。



東洋経済新報社から発売されています。

◆第56回全国校友香川大会の中止について

新型コロナウイルス感染症拡大による昨今の状況を鑑み、誠に残念ですが、今年の全国校友香川大会を中止とします。

明治大学校友会香川県支部支部長 玉越浩達

◆訃報

校友の岩田勉さまが本年3月11日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

事務局より

日野地域支部へのご意見・ご要望、その他投稿記事は以下事務局までお知らせください。

〒191-0011 東京都日野市日野本町4-18-10 (小川方)

明治大学校友会日野地域支部事務局 宛て

hinoshibu-info@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp までお願いします。



「明治はひとつ！」

校友の皆様、母校のご支援・校友会活動にご協力よろしくお願い申し上げます。